



## 外国出張報告書

平成 27 年 5 月 18 日

1. 出張国名      ラオス、タイ
2. 出張月      平成27年2～4月
3. 出張目的      低投入型水稲栽培管理技術及び乾期水田高度利用技術の開発：C
4. 成果の概要

ラオス中山間農村で入手可能なリン資材であるコウモリ糞の水田土壌での肥効について検討し、現地水田土壌での湛水条件でのリン不溶化の可能性は低いこと、土壌中の易還元鉄の増大がコウモリ糞施用によって抑制されることを明らかにした。またその検討過程で、湛水に先立つ短期間の畑条件が易還元鉄の増大に大きく影響する現象が見られたことから、土壌水分条件が易還元鉄の挙動に及ぼす影響について短期研究者と共同で土壌微生物との関連で解析を行った。また、前回の出張に引き続いてラオス各地から収集したコウモリ糞の分析を進めるとともに、その化学性と水稲生育との関連を明らかにするためのポット試験を開始した。さらに対象農村の乾期水田における利用可能土壌水の分布を推定するため、3月中旬にナムアン村水田圃場の植生調査と土壌採取を行った。

在ラオス関係機関(日本大使館およびJICA事務所)に対する説明会、ラオス関係機関とJIRCASとで構成される運営委員会の開催準備を行うとともに、水田システム関連課題の説明を担当した。また、6月4日に開催するワークショップに関して調整を行った。